

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2022年10月～12月期)



東糞谷支店

目次

景況DIレポート	・・・ 1
製造業	・・・ 2
卸売業	・・・ 3
小売業	・・・ 4
サービス業	・・・ 5
建設業	・・・ 6
不動産業	・・・ 7
特別調査	・・・ 8
各種統計指数	・・・ 9

第60号 2023年2月

 さわやか信用金庫

景況DIレポート

2022年10月～12月期 (第3四半期) NO.60

調査方法について

製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。

当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。

2022年度第3四半期を2022年度第2四半期と比較した実績と、

2022年度第4四半期と比較した見通しを調査したものです。

調査依頼先数は541先で、回答をいただいた先は494先です。

特別調査では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	73	14	118	25	13	20	263
5～9	44	8	13	14	14	2	95
10～19	36	5	8	12	6	2	69
20～29	8	2	3	3	3	0	19
30～49	13	2	1	2	3	0	21
50～99	13	2	1	3	2	0	21
100以上	5	0	0	0	1	0	6
計	192	33	144	59	42	24	494

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40% - 30%」= 10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、「ビールは夏に売れる」「ボーナス時期には消費が増加する」等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

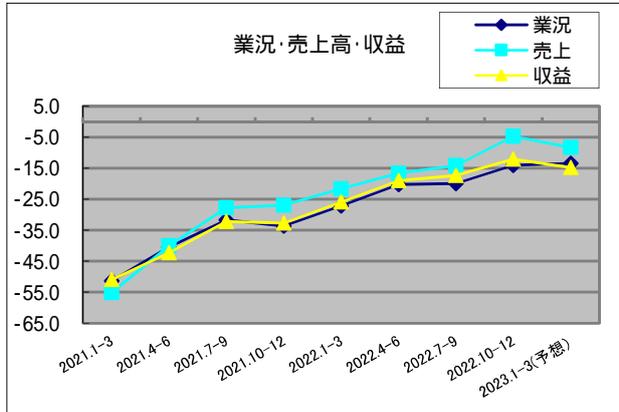
今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-14.1	-41.2	-40.4	-18.3	-4.7	0.9	-22.6
売上	-4.7	-37.9	-33.5	-5.8	0.2	8.4	-14.4
収益	-12.1	-49.5	-33.1	-14.4	-12.2	3.0	-20.3

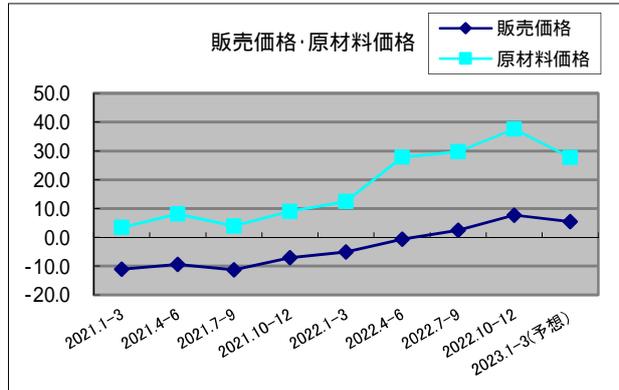
今期のコメント

製造業	業況・売上・収益ともに改善
卸売業	業況・売上ともにやや悪化、収益は大幅に悪化
小売業	業況はわずかに改善、売上・収益ともにほぼ横這い
サービス業	業況・収益ともにやや悪化、売上はほぼ横這い
建設業	業況・売上・収益ともに改善
不動産業	業況はほぼ横這い、売上・収益ともにやや悪化

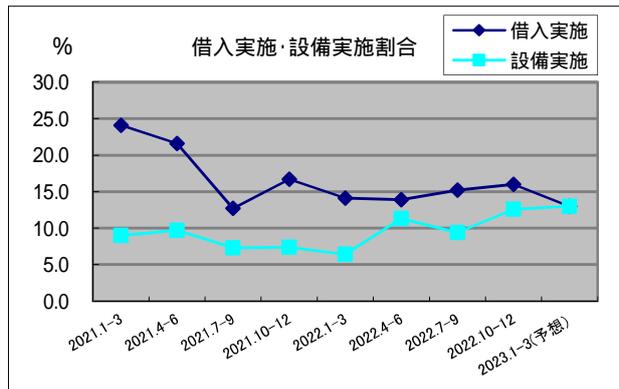
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-51.4	-40.4	-31.7	-33.6	-27.2	-20.3	-19.9	-14.1	-13.4
売上	-55.2	-40.0	-27.8	-26.9	-21.7	-16.6	-14.2	-4.7	-8.3
収益	-51.0	-42.3	-32.2	-32.7	-25.9	-19.0	-17.4	-12.1	-14.8
販売価格	-11.1	-9.4	-11.3	-7.1	-5.1	-0.7	2.4	7.7	5.5
原材料価格	3.4	8.1	3.9	9.0	12.4	27.8	29.7	37.6	27.7
借入実施	24.1	21.6	12.7	16.7	14.1	13.9	15.2	16.0	13.0
設備実施	9.0	9.7	7.3	7.4	6.4	11.3	9.4	12.6	13.0



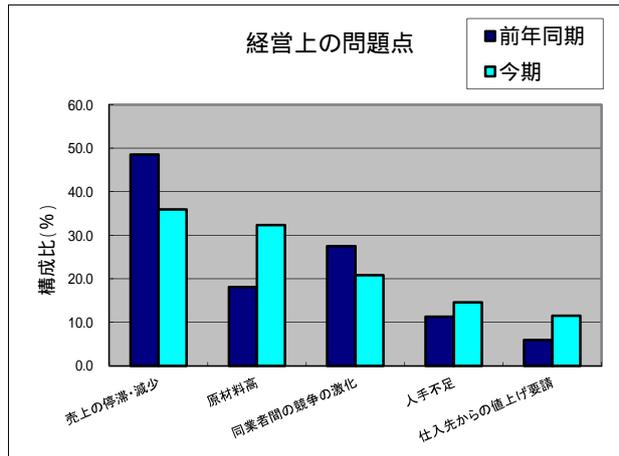
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、14.1となり、対前年同期比では19.5ポイント改善、前期比では5.8ポイント改善した。
 売上DI(増加 - 減少)については4.7と対前年同期比では22.2ポイント改善、前期比でも9.5ポイント改善している。
 収益DI(増加 - 減少)については12.1と対前年同期比で20.6ポイント改善、前期比でも5.3ポイント改善した。
 当期は、業況・売上・収益ともに改善した。
 来期は、業況はほぼ横ばい、売上・収益ともにやや悪化すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、7.7と対前年同期比で14.8ポイント上昇し、前期比でも5.3ポイント上昇した。
 今期の原材料価格DI(上昇 - 下降)は、37.6と対前年同期比で28.6ポイント上昇し、前期比では7.9ポイント上昇した。
 当期は、販売価格・原材料価格ともに上昇した。
 来期については、販売価格はやや低下し、原材料価格は大幅に低下すると予想している。



借入実施の割合は、前期15.2%から今期16.0%と0.8ポイント増加した。
 設備実施の割合については、前期9.4%から今期12.6%と3.2ポイント増加した。
 当期は、借入実施はほぼ横ばいで、設備実施はやや増加した。
 来期の予想では、借入実施割合は13.0%と3.0ポイント減少し、設備実施割合については13.0%と0.4ポイント増加すると予想している。



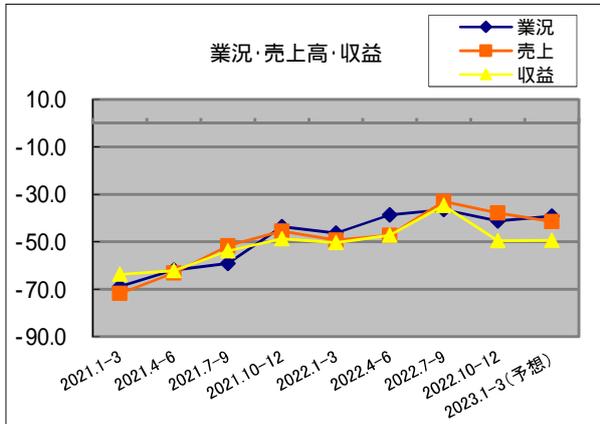
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期48.5%、今期35.9%となっている(12.6ポイント減少)。
 第2位は「原材料高」である。前年同期18.1%、今期は32.3%となっている(14.2ポイント増加)。
 第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期27.5%、今期20.8%となっている(6.7ポイント減少)。
 第4位は「人手不足」である。前年同期11.3%、今期14.6%となっている(3.3ポイント増加)。
 第5位は「仕入先からの値上げ要請」である。前年同期5.9%、今期11.5%となっている(5.6ポイント増加)。

卸売業

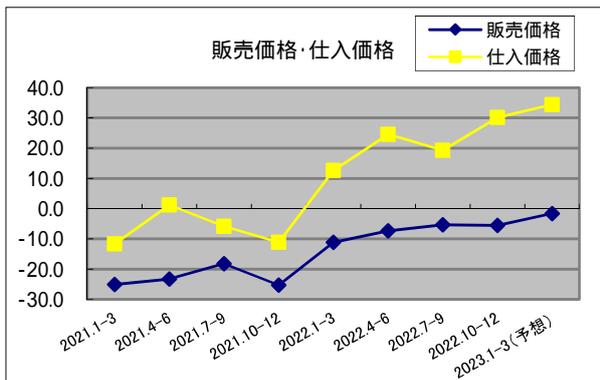
調査先有効回答先数 33先

業況・売上ともにやや悪化、収益は大幅に悪化

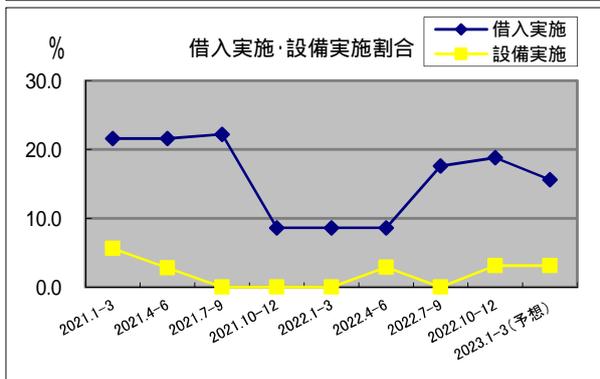
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-68.9	-61.9	-59.1	-43.6	-46.3	-38.6	-36.4	-41.2	-39.2
売上	-71.8	-63.1	-51.7	-45.5	-49.3	-47.2	-33.0	-37.9	-41.5
収益	-63.7	-62.2	-53.8	-48.7	-50.4	-47.2	-34.7	-49.5	-49.4
販売価格	-25.1	-23.3	-18.2	-25.3	-11.2	-7.4	-5.3	-5.6	-1.6
仕入価格	-11.7	1.2	-5.9	-11.2	12.6	24.6	19.3	30.2	34.4
借入実施	21.6	21.6	22.2	8.6	8.6	8.6	17.6	18.8	15.6
設備実施	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	3.1	3.1



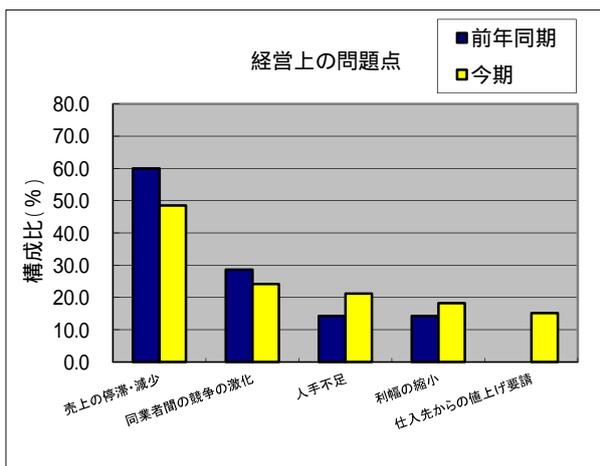
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、41.2と対前年同期比で2.4ポイント改善、前期比では4.8ポイント悪化した。
 売上DI(増加 - 減少)については、37.9と対前年同期比では7.6ポイント改善、前期比では4.9ポイント悪化した。
 収益DI(増加 - 減少)については49.5と対前年同期比で0.8ポイント悪化、前期比でも14.8ポイント悪化した。
 当期は、業況・売上ともにやや悪化し、収益は大幅に悪化した。
 来期は、業況はやや改善し、売上はやや悪化し、収益はほぼ横這いと予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、5.6と対前年同期比で19.7ポイント上昇し、前期比では0.3ポイント低下した。
 今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、30.2と対前年同期比で41.4ポイント上昇し、前期比では10.9ポイント上昇した。
 当期は、販売価格はほぼ横這いで、仕入価格は大幅に上昇した。
 来期は、販売価格・仕入価格ともにやや上昇すると予想している。

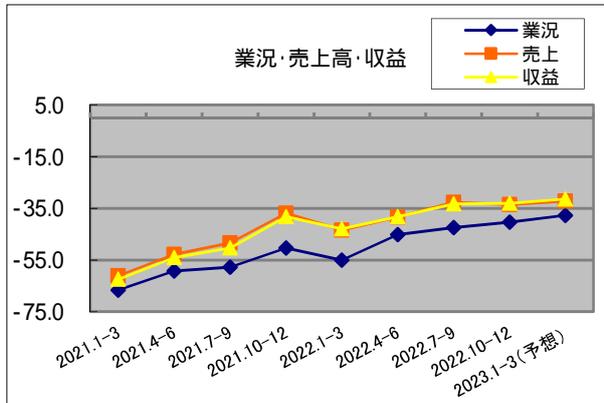


借入実施の割合は、前期17.6%から今期18.8%と1.2ポイント増加した。
 設備実施の割合については、前期は実施しないから今期は3.1%と3.1ポイント増加した。
 当期は、借入実施・設備実施ともにやや増加した。
 来期の予想では、借入実施割合は15.6%とやや減少し、設備実施割合については3.1%と今期同様変わらないと予想している。

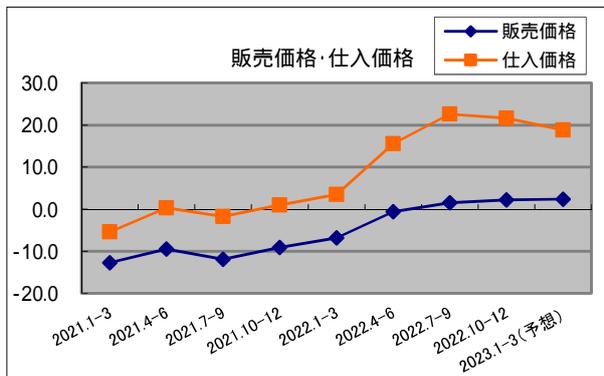


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期60.0%、今期48.5%となっている(11.5ポイント減少)。
 第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期28.6%、今期24.2%となっている(4.4ポイント減少)。
 第3位は「人手不足」である。前年同期14.3%、今期21.2%となっている(6.9ポイント増加)。
 第4位は「利幅の縮小」である。前年同期14.3%、今期18.2%となっている(3.9ポイント増加)。
 第5位は「仕入先からの値上げ要請」である。前年同期0.0%、今期15.2%となっている(15.2ポイント増加)。

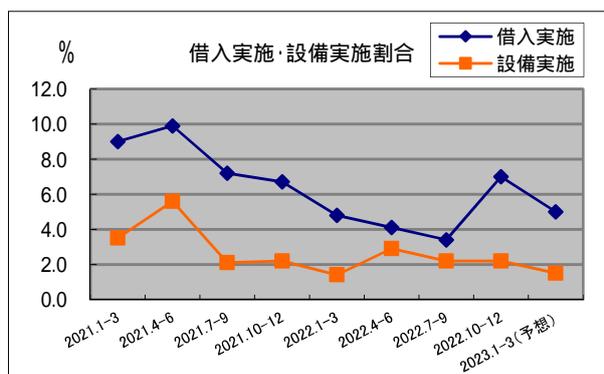
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-66.6	-59.2	-57.8	-50.4	-55.1	-45.2	-42.5	-40.4	-37.7
売上	-61.1	-52.8	-48.4	-36.9	-43.4	-38.4	-32.7	-33.5	-32.2
収益	-62.5	-54.0	-50.3	-38.2	-43.0	-38.2	-33.3	-33.1	-31.4
販売価格	-12.7	-9.5	-11.9	-9.1	-6.8	-0.6	1.5	2.2	2.4
仕入価格	-5.4	0.3	-1.7	1.0	3.5	15.6	22.6	21.6	18.8
借入実施	9.0	9.9	7.2	6.7	4.8	4.1	3.4	7.0	5.0
設備実施	3.5	5.6	2.1	2.2	1.4	2.9	2.2	2.2	1.5



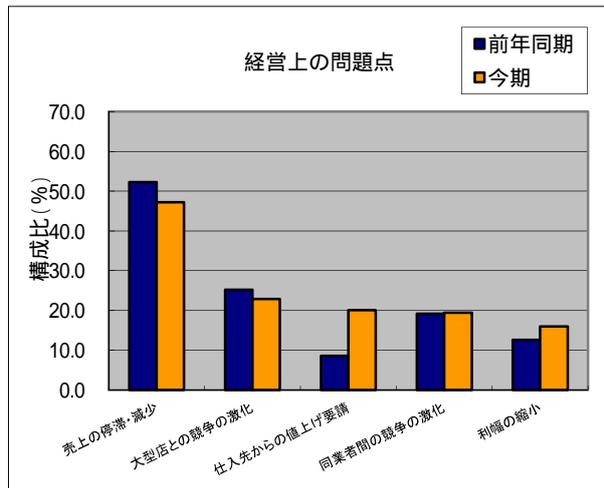
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、40.4で対前年同期比で10.0ポイント改善、前期比では2.1ポイント改善した。
 売上DI(増加 - 減少)については33.5と対前年同期比で3.4ポイント改善、前期比では0.8ポイント悪化した。
 収益DI(増加 - 減少)については33.1と対前年同期比で5.1ポイント改善、前期比では0.2ポイント改善した。
 当期は、業況はわずかに改善し、売上・収益ともにほぼ横這いであった。
 来期は、業況・売上・収益ともにやや改善すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は2.2と対前年同期比で11.3ポイント上昇、前期比でも0.7ポイント上昇した。
 今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、21.6と対前年同期比で20.6ポイント上昇、前期比では1.0ポイント低下した。
 当期は、販売価格はわずかに上昇し、仕入価格はわずかに低下した。
 来期については、販売価格はほぼ横這いで、仕入価格はやや低下すると予想している。



借入実施の割合は、前期3.4%から今期7.0%と3.6ポイント増加した。
 設備実施の割合については、前期2.2%から今期2.2%と変化なしであった。
 当期は、借入実施はやや増加し、設備実施は変化なしであった。
 来期の予想では、借入実施の割合は5.0%と2.0ポイント減少し、設備実施の割合についても1.5%と0.7ポイント減少すると予想している。



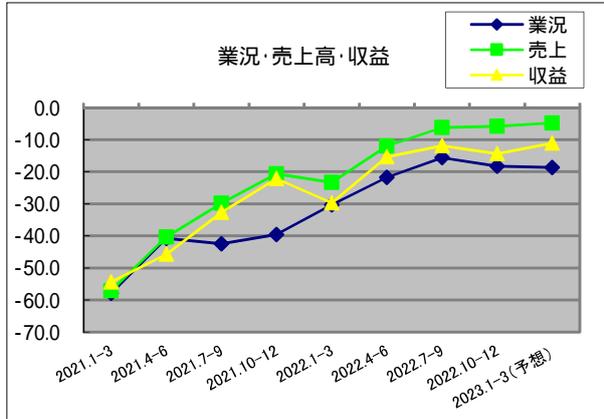
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期52.3%、今期47.2%となっている(5.1ポイント減少)。
 第2位は「大型店との競争の激化」である。前年同期25.2%、今期22.9%となっている(2.3ポイント減少)。
 第3位は「仕入先からの値上げ要請」である。前年同期8.6%、今期20.1%となっている(11.5ポイント増加)。
 第4位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期19.2%、今期19.4%となっている(0.2ポイント増加)。
 第5位は「利幅の縮小」である。前年同期12.6%、今期16.0%となっている(3.4ポイント増加)。

サービス業

調査先有効回答先数59先

業況・収益ともにやや悪化、売上はほぼ横這い

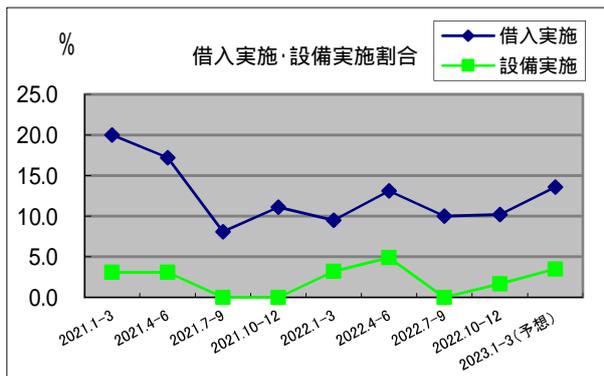
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-57.9	-40.8	-42.5	-39.6	-30.3	-21.8	-15.6	-18.3	-18.7
売上	-57.1	-40.4	-29.8	-20.7	-23.3	-12.0	-6.2	-5.8	-4.8
収益	-54.4	-45.8	-32.7	-22.1	-29.7	-15.4	-11.9	-14.4	-11.1
料金価格	-8.9	-4.0	-8.4	2.3	2.2	9.2	6.8	4.5	8.3
材料価格	-5.2	1.2	-0.3	8.4	9.1	21.0	24.1	29.4	27.4
借入実施	20.0	17.2	8.1	11.1	9.5	13.1	10.0	10.2	13.6
設備実施	3.1	3.1	0.0	0.0	3.2	4.9	0.0	1.7	3.5



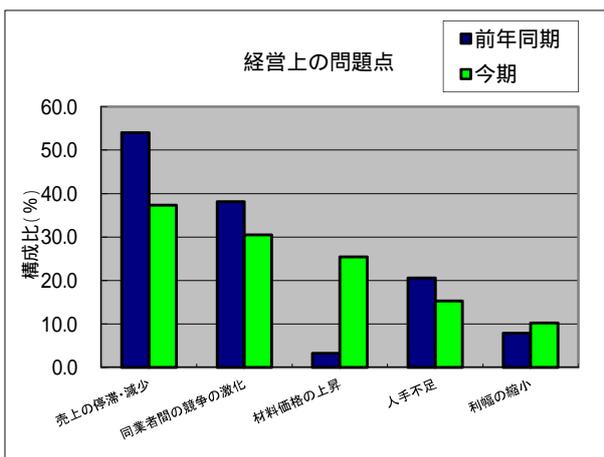
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、18.3と対前年同期比で21.3ポイント改善、前期比では2.7ポイント悪化した。
 売上DI(増加 - 減少)は5.8となり、対前年同期比で14.9ポイント改善、前期比でも0.4ポイント改善した。
 収益DI(増加 - 減少)については14.4と対前年同期比では7.7ポイント改善し、前期比では2.5ポイント悪化した。
 当期は業況・収益ともにやや悪化し、売上はほぼ横這いであった。
 来期については、業況はほぼ横這いで、売上・収益はわずかに改善すると予想している。



今期の料金価格DI(上昇 - 下降)は、4.5と対前年同期比では2.2ポイント上昇、前期比では2.3ポイント低下した。
 今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は、29.4と対前年同期比で21.0ポイント上昇、前期比で5.3ポイント上昇した。
 当期は、料金価格はやや低下し材料価格は上昇した。
 来期については、料金価格やや上昇し、材料価格やや低下すると予想している。

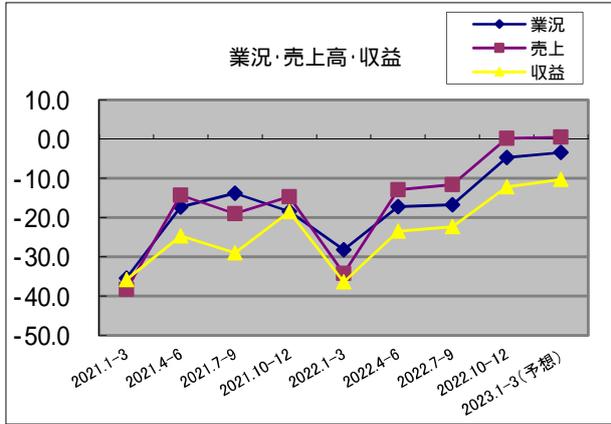


借入実施の割合は、前期10.0%から今期10.2%と0.2ポイント増加した。
 設備実施の割合については、前期は実施なしから今期は1.7%と1.7ポイント増加した。
 当期は、借入実施はほぼ横這いで、設備実施はわずかに増加した。
 来期の予想では、借入実施割合は13.6%と3.4ポイント増加し、設備実施割合は3.5%と1.8ポイント増加すると予想している。

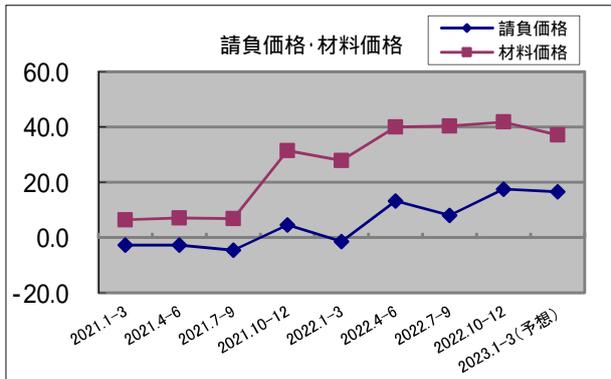


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期54.0%、今期37.3%となっている(16.7ポイント減少)。
 第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期38.1%、今期30.5%となっている(7.6ポイント減少)。
 第3位は「材料価格の上昇」である。前年同期3.2%、今期25.4%となっている(22.2ポイント増加)。
 第4位は「人手不足」である。前年同期20.6%、今期15.3%となっている(5.3ポイント減少)。
 第5位は「利幅の縮小」である。前年同期7.9%、今期10.2%となっている(2.3ポイント増加)。

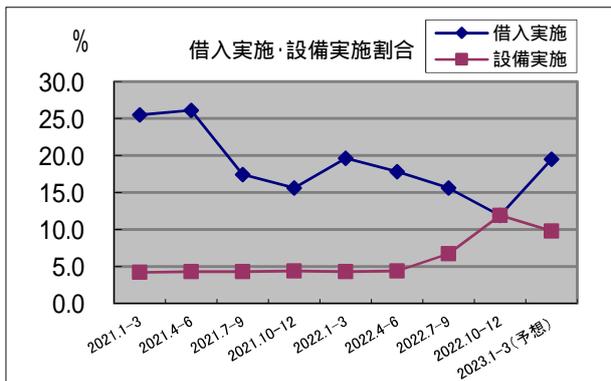
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-35.4	-17.3	-13.8	-18.4	-28.2	-17.2	-16.7	-4.7	-3.4
売上	-38.3	-14.3	-19.0	-14.7	-34.2	-12.9	-11.6	0.2	0.5
収益	-35.8	-24.7	-29.0	-18.5	-36.4	-23.5	-22.3	-12.2	-10.3
請負価格	-2.8	-2.7	-4.6	4.5	-1.5	13.2	8.0	17.5	16.6
材料価格	6.4	7.1	6.8	31.4	27.9	40.0	40.3	41.8	37.1
借入実施	25.5	26.1	17.4	15.6	19.6	17.8	15.6	11.9	19.5
設備実施	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	6.7	11.9	9.8



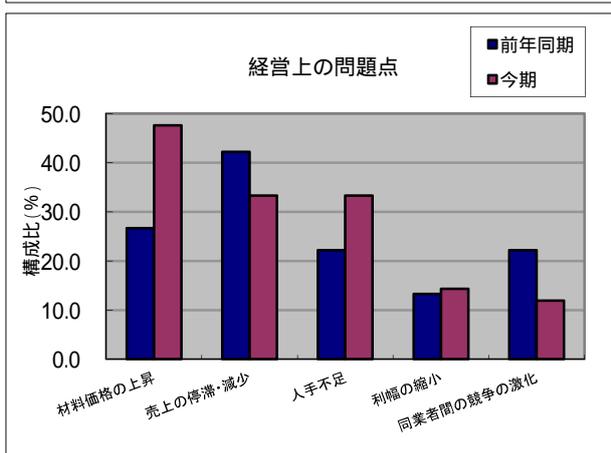
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、4.7と対前年同期比で13.7ポイント改善し、前期比では12.0ポイント改善した。
 売上DI(増加 - 減少)については、0.2と対前年同期比で14.9ポイント改善し、前期比でも11.8ポイント改善した。
 収益DI(増加 - 減少)については、12.2と対前年同期比で6.3ポイント改善し、前期比でも10.1ポイント改善した。
 当期は、業況・売上・収益ともに改善した。
 来期においては、業況・収益はわずかに改善し、売上はほぼ横這いと予想している。



今期の請負価格DI(上昇 - 下降)は、17.5と対前年同期比で13.0ポイント上昇し、前期比でも9.5ポイント上昇した。
 今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は41.8と対前年同期比で10.4ポイント上昇、前期比でも1.5ポイント上昇した。
 当期は、請負価格は大幅に上昇し、材料価格はわずかに上昇した。
 来期については、請負価格はほぼ横這いで、材料価格やや低下すると予想している。



借入実施の割合は、前期15.6%から今期11.9%と3.7ポイント減少した。
 設備実施の割合については、前期6.7%から今期11.9%と5.2ポイント増加した。
 当期は、借入実施はやや減少し、設備実施は増加した。
 来期の予想では、借入実施割合は19.5%と7.6ポイント増加し、設備実施割合は9.8%と2.1ポイント減少すると予想している。



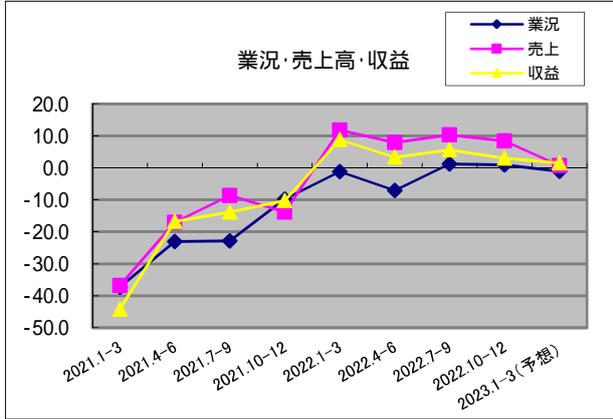
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「材料価格の上昇」である。前年同期26.7%、今期47.6%となっている(20.9ポイント増加)。
 第2位は「売上の停滞・減少」である。前年同期42.2%、今期33.3%となっている(8.9ポイント減少)。
 第2位(同率2位)は「人手不足」である。前年同期22.2%、今期33.3%となっている(11.1ポイント増加)。
 第4位は「利幅の縮小」である。前年同期13.3%、今期14.3%となっている(1.0ポイント増加)。
 第5位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期22.2%、今期11.9%となっている(10.3ポイント減少)。

不動産業

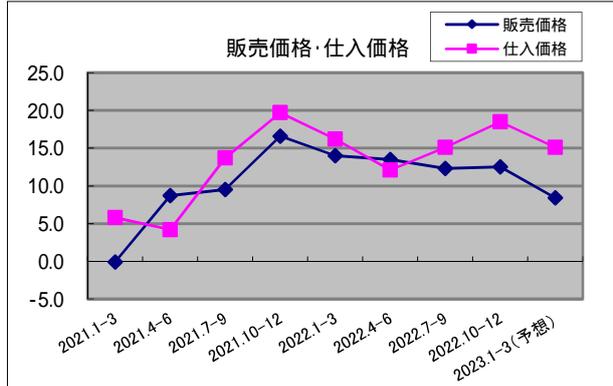
調査先有効回答先数 24先

業況はほぼ横這い、売上・収益ともにやや悪化

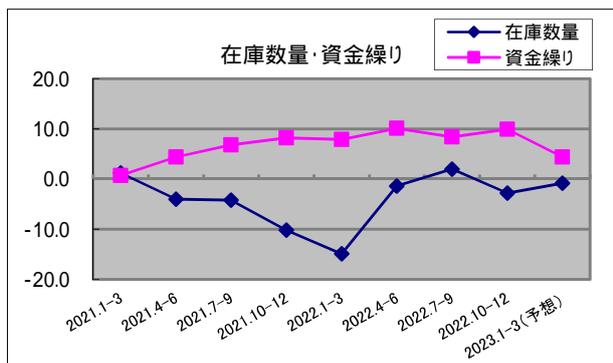
期	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3(予想)
業況	-37.3	-23.0	-22.8	-9.8	-1.2	-7.1	1.2	0.9	-1.1
売上	-36.8	-17.1	-8.7	-13.9	11.8	7.9	10.3	8.4	0.7
収益	-44.2	-16.8	-13.9	-10.3	8.8	3.3	5.6	3.0	1.5
販売価格	-0.1	8.7	9.5	16.6	14.0	13.5	12.3	12.5	8.4
仕入価格	5.8	4.2	13.7	19.7	16.2	12.1	15.1	18.5	15.1
在庫数量	1.2	-4.0	-4.2	-10.2	-14.9	-1.4	2.0	-2.8	-0.8
資金繰り	0.7	4.4	6.8	8.2	7.9	10.1	8.4	9.9	4.4



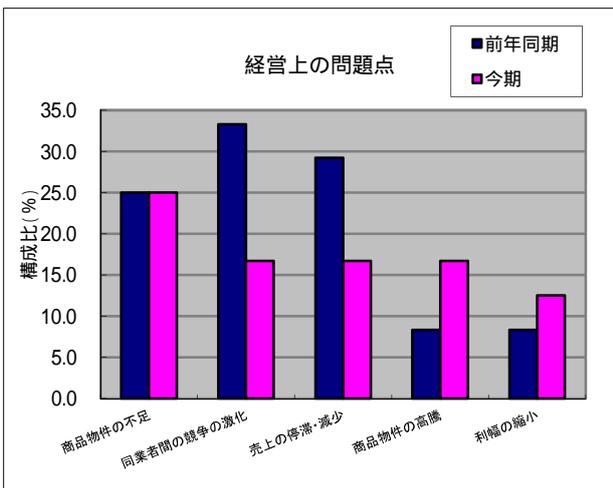
2022年10月～12月期の業況DI(良い - 悪い)は、0.9と対前年同期比で10.7ポイント改善し、前期比では0.3ポイント悪化した。
 売上DI(増加 - 減少)については、8.4と対前年同期比で22.3ポイント改善し、前期比では1.9ポイント悪化した。
 収益DI(増加 - 減少)については、3.0と対前年同期比で13.3ポイント改善し、前期比では2.6ポイント悪化した。
 当期は、業況はほぼ横這いで、売上・収益ともにやや悪化した。
 来期については、業況・収益ともにやや悪化し、売上も悪化すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、12.5と対前年同期比で4.1ポイント低下し、また前期比では0.2ポイント上昇した。
 今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、18.5と対前年同期比で1.2ポイント低下し、前期比では3.4ポイント上昇した。
 当期、販売価格はほぼ横這いで、仕入価格はやや上昇した。
 来期については、販売価格・仕入価格ともにやや低下すると予想している。



今期の在庫数量DI(過剰 - 不足)は、2.8と前期に対して、4.8ポイント減少している。
 今期の資金繰りDI(楽 - 苦しい)は、9.9と前期に対し1.5ポイント改善している。
 当期、在庫数量はやや減少し、資金繰りはわずかに改善した。
 来期の予想では、在庫数量は0.8と2.0ポイント増加し、資金繰りは4.4と5.5ポイント悪化すると予想している。

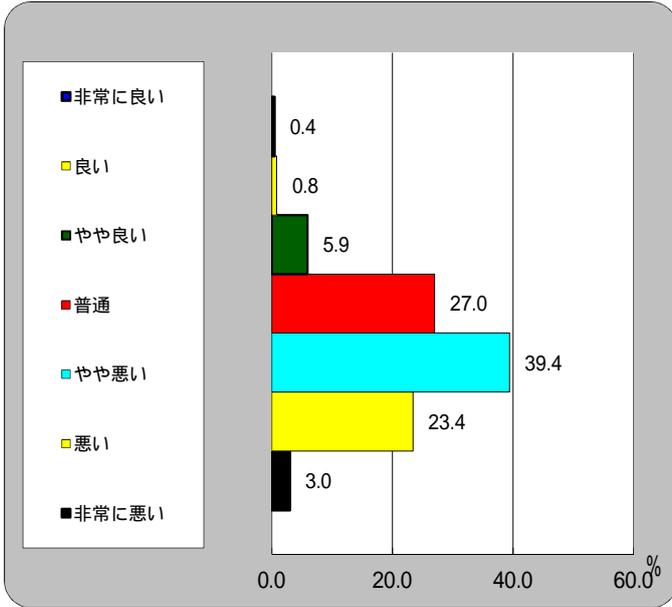


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「商品物件の不足」である。前年同期 25.0%、今期25.0%となっている(前期同様の水準)。
 第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期 33.3%、今期16.7%となっている(16.6ポイント減少)。
 第2位(同率2位)は「売上の停滞・減少」である。前年同期 29.2%、今期16.7%となっている(12.5ポイント減少)。
 第2位(同率2位)は「商品物件の高騰」である。前年同期 8.3%、今期16.7%となっている(8.4ポイント増加)。
 第5位は「利幅の縮小」である。前年同期 8.3%、今期12.5%となっている(4.2ポイント増加)。

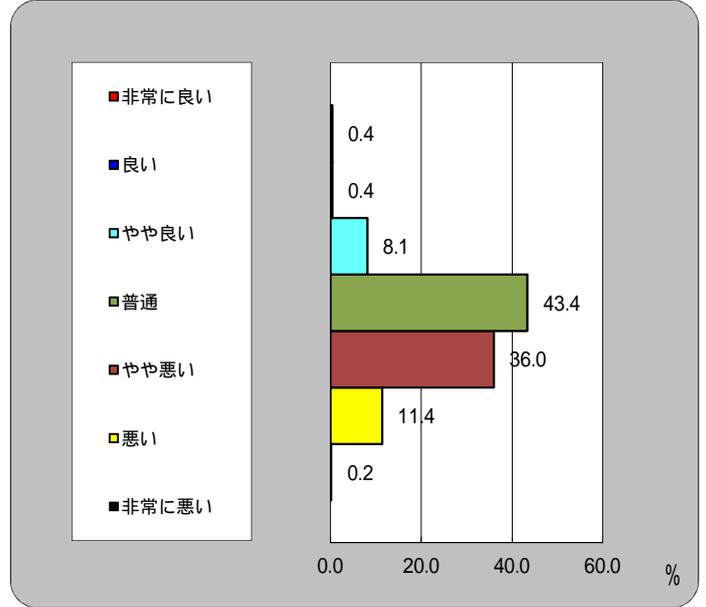
2023年(令和5年)の経営見通し

(アンケートに回答いただいた全業種494先の調査結果です)

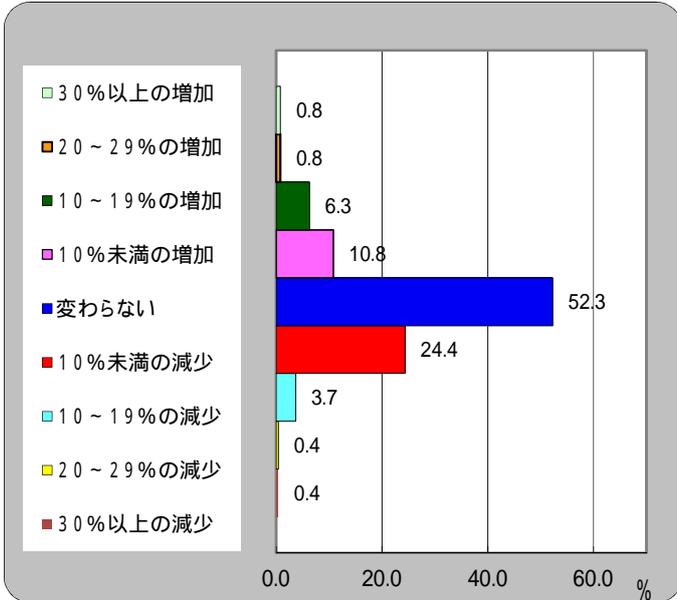
2023年(令和5年)の景気見通し



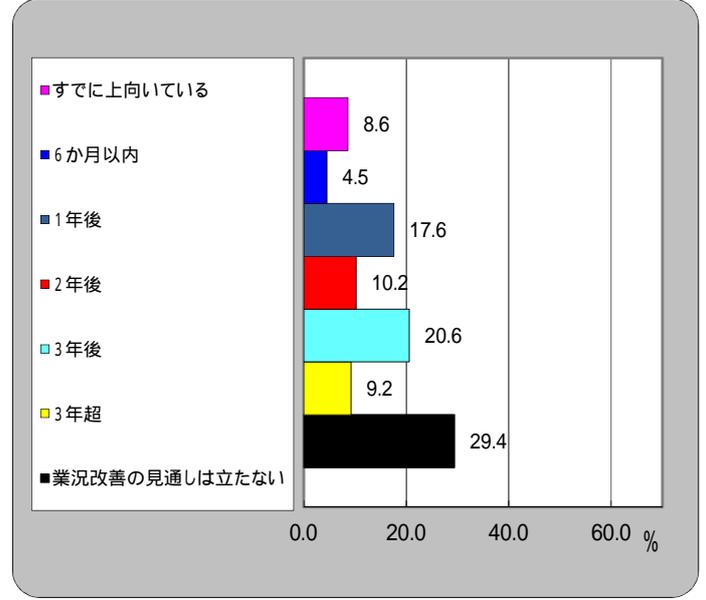
2023年の自社の業況(景気)見通し



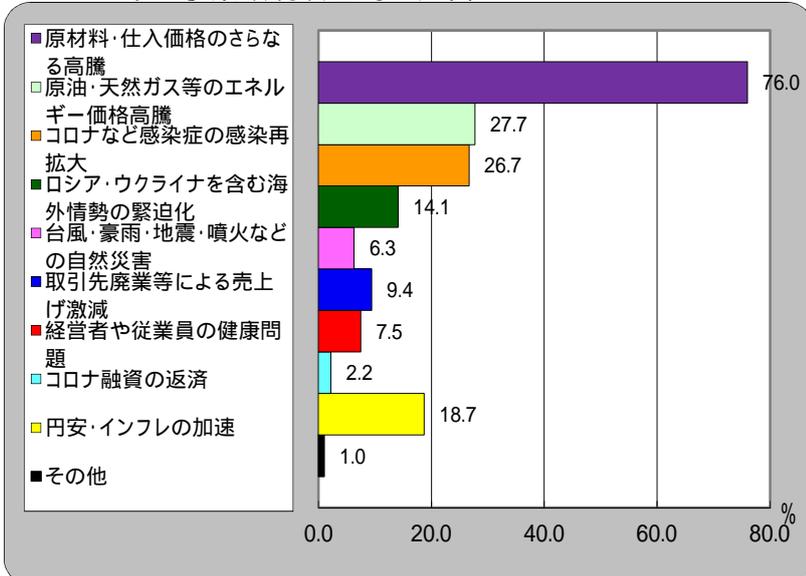
2023年の売上額伸び率見通し



自社の業況が上向く転換点の見通し



2023年の事業環境展望時の経営リスク



各種統計指数

	消費者物価指数 2020年 = 100							
	全国		東京都区部		横浜市		川崎市	
	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比
		%		%		%		%
2021年11月	100.1	0.6	100.0	0.5	99.9	0.4	99.4	-0.1
2021年12月	100.1	0.8	100.1	0.8	99.9	0.6	99.6	0.3
2022年1月	100.3	0.5	100.3	0.6	100.4	0.4	99.8	-0.1
2022年2月	100.7	0.9	100.7	1.0	100.6	1.0	100.2	0.5
2022年3月	101.1	1.2	101.1	1.3	101.1	1.4	100.4	0.7
2022年4月	101.5	2.5	101.5	2.4	101.5	2.5	100.9	2.1
2022年5月	101.8	2.5	101.9	2.4	101.6	2.3	101.1	2.0
2022年6月	101.8	2.4	101.8	2.3	101.5	2.1	100.9	1.9
2022年7月	102.3	2.6	102.3	2.5	102.1	2.4	101.5	2.1
2022年8月	102.7	3.0	102.7	2.9	102.6	2.7	101.9	2.7
2022年9月	103.1	3.0	102.9	2.8	102.7	2.6	102.1	2.7
2022年10月	103.7	3.7	103.5	3.5	103.2	3.5	102.6	3.4
2022年11月	103.9	3.8	103.8	3.7	103.4	3.6	102.9	3.5
2022年12月	104.1	4.0	104.0	4.0	103.6	3.7	103.1	3.5

(出典：総務省統計局)

		国内企業物価指数 2020年平均 = 100	
		総平均	対前年比
2021年11月	確報	108.4	9.1
2021年12月	確報	108.4	8.6
2022年1月	確報	109.4	9.1
2022年2月	確報	110.3	9.4
2022年3月	確報	111.4	9.4
2022年4月	確報	113.2	9.9
2022年5月	確報	113.3	9.4
2022年6月	確報	114.3	9.6
2022年7月	確報	115.2	9.3
2022年8月	確報	115.7	9.6
2022年9月	確報	116.9	10.3
2022年10月	確報	118.0	9.6
2022年11月	確報	118.9	9.7
2022年12月	確報	119.5	10.2

(出典：日本銀行)

	景気動向指数DI DIが50%を上回ると拡張基調		
	先行指数(%)	一致指数(%)	遅行指数(%)
2021年10月	36.4	20.0	33.3
2021年11月	59.1	90.0	44.4
2021年12月	54.5	90.0	77.8
2022年1月	54.5	90.0	66.7
2022年2月	36.4	10.0	66.7
2022年3月	27.3	30.0	55.6
2022年4月	54.5	80.0	77.8
2022年5月	45.5	60.0	66.7
2022年6月	54.5	70.0	83.3
2022年7月	40.9	50.0	55.6
2022年8月	63.6	70.0	77.8
2022年9月	31.8	50.0	44.4
2022年10月	30.0	33.3	75.0
2022年11月	33.3	25.0	100.0

(出典：内閣府)

	着工住宅戸数(戸)	
	東京都	神奈川県
2021年10月	12,649	5,601
2021年11月	9,619	5,163
2021年12月	10,639	5,932
2022年1月	9,345	6,081
2022年2月	11,585	5,436
2022年3月	13,206	5,587
2022年4月	11,868	5,847
2022年5月	10,231	5,455
2022年6月	11,120	5,663
2022年7月	10,908	6,532
2022年8月	11,294	5,302
2022年9月	11,115	6,647
2022年10月	12,966	5,290
2022年11月	11,910	5,240

(出典：国土交通省)

内閣府月例経済報告 / 基調判断の変化	
2022年1月	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。
2022年2月	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。
2022年3月	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。
2022年4月	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。
2022年5月	景気は、持ち直しの動きがみられる。
2022年6月	景気は、持ち直しの動きがみられる。
2022年7月	景気は、緩やかに持ち直している。
2022年8月	景気は、緩やかに持ち直している。
2022年9月	景気は、緩やかに持ち直している。
2022年10月	景気は、緩やかに持ち直している。
2022年11月	景気は、緩やかに持ち直している。
2022年12月	景気は、緩やかに持ち直している。

(出典：内閣府)

店舗一覽

充実の店舗網

東京都内・川崎市・横浜市に63店舗

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
港区	本店営業部	108-0073	港区三田5-21-5	03-3444-1112
	東京港	105-0014	港区芝2-29-10	03-3451-8251
	芝浦	108-0023	港区芝浦3-6-3協栄ビル1階	03-3454-5181
	麻布	106-0045	港区麻布十番4-1-9	03-3451-3710
	麻布十番出張所	106-0045	港区麻布十番2-14-3	03-3456-8550
	日比谷	105-0003	港区西新橋2 8 6 住友不動産 日比谷ビル1階	03-3437-3710
	赤坂	107-0052	港区赤坂2-13-2赤坂SSビル	03-3585-3710
	六本木	106-0032	港区六本木7-8-8	03-3403-3710
	青山	107-0062	港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1階	03-3400-3710
目黒区	学芸大学駅前	152-0004	目黒区鷹番3-19-18	03-3711-2171
	目黒	153-0064	目黒区下目黒1-1-11	03-3492-6541
	中目黒駅前 (店舗内店舗)		目黒東洋ビル1階	03-6303-9671
	碑文谷	152-0002	目黒区目黒本町6-19-18	03-3793-4511
品川区	大井	140-0015	品川区西大井2-20-12	03-3777-4401
	品川	140-0001	品川区北品川1-22-15	03-3471-4791
	南品川出張所	140-0004	品川区南品川6-6-3	03-3474-4811
	戸越銀座	142-0041	品川区戸越1-19-23	03-3783-6511
	小山出張所	142-0062	品川区小山3-7-12	03-5498-3721
	二葉出張所	142-0043	品川区二葉2-14-9	03-3785-3101
	不動前出張所	141-0031	品川区西五反田5-12-3	03-3779-2751
	立会川	140-0013	品川区南大井4-2-5	03-3764-7101
	世田谷区	世田谷	157-0073	世田谷区砧3-2-6
喜多見		157-0067	世田谷区喜多見8-16-10	03-3417-1651
上野毛		158-0093	世田谷区上野毛1-14-5	03-3703-2111
中央区	東日本橋	103-0001	中央区日本橋小伝馬町14-4	03-3661-9751
	銀座	104-0061	中央区銀座6-14-5 銀座ホウライビル3階	03-5565-0530
	日本橋	103-0025	中央区日本橋茅場町3-10-9	03-3667-6011
新宿区	新宿	162-0052	新宿区戸山2-33-109	03-3204-1271
	四谷	160-0004	新宿区四谷3-5	03-3351-4186
	牛込	162-0825	新宿区神楽坂6-38	03-3260-0241
渋谷区	渋谷	150-0011	渋谷区東2-17-14	03-5485-3710
	恵比寿駅前 (店舗内店舗)		渋谷区恵比寿3-46-7	03-5485-3755
	広尾白金	150-0013	渋谷区恵比寿3-46-7 シティハウス広尾南1階	03-3444-3710
	広尾出張所	150-0012	渋谷区広尾5-19-10 ウイルハギヤビルディング1階	03-5447-6810
	新宿西	151-0071	渋谷区本町3-43-3	03-3376-9111
稲城市	稲城	206-0801	稲城市大丸200	042-377-3811
	矢野口	206-0812	稲城市矢野口1674	042-378-2961

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号	
大田区	大森中央	143-0024	大田区中央6-29-4	03-3754-1331	
	下丸子	146-0092	大田区下丸子3-8-13	03-3756-5571	
	雪谷	145-0065	大田区東雪谷3-31-4	03-3748-6660	
	大森	143-0012	大田区大森4-16-17	03-3761-9191	
	美原	143-0012	大田区大森東1-9-14	03-3761-9161	
	羽田	144-0047	大田区萩中2-2-1	03-3742-0411	
	糎谷駅前出張所	144-0034	大田区西糎谷4-14-14	03-3743-8911	
	蒲田	146-0095	大田区多摩川1-26-17	03-3758-1261	
	穴守	144-0043	大田区羽田4-20-10	03-3744-4511	
	大森南	143-0013	大田区大森南3-17-12	03-3745-3711	
	糎谷	144-0034	大田区西糎谷1-15-17	03-3745-2371	
	大森西	143-0015	大田区大森西5-9-3	03-3768-3601	
	梅屋敷出張所	143-0015	大田区大森西6-15-10	03-3766-4111	
	京浜島	143-0003	大田区京浜島2-9-1	03-3790-2611	
	東糎谷	144-0033	大田区東糎谷4-1-1	03-3741-7111	
	六郷	144-0045	大田区南六郷2-7-23	03-3730-4871	
	北馬込 荏原(店舗内店舗)	143-0021	大田区北馬込2-47-1	03-3778-2291 03-3778-2293	
	調布市	調布	182-0035	調布市上石原1-31-16	042-482-6193
		多摩川	182-0023	調布市染地3-1-253	042-483-4011
	日野市	高幡不動	191-0031	日野市高幡17-7	042-592-7111
川崎市	川崎	210-0837	川崎市川崎区渡田1-1-10	044-366-1234	
	鷺沼	216-0004	川崎市宮前区鷺沼3-1-28 メゾン・オークボ1・2階	044-866-8451	
	平間	211-0014	川崎市中原区田尻町66-1	044-555-3821	
横浜市	高田	223-0065	横浜市港北区高田東4-24-41	045-546-0431	
	新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町1738	045-545-2931	
ATMコーナー					
港区	六本木6丁目出張所	106-0031	港区六本木6-3-1六本木6ビル 加賀イオ1 F		
	四の橋出張所	108-0072	港区白金3-2-5		
品川区	戸越銀座出張所	142-0041	品川区戸越1-15-20		
	戸越公園出張所	142-0041	品川区戸越5-7-17ドレック戸越公園ビル1階		
	荏原出張所	142-0064	品川区旗の台3-13-5こづちやビル1階		
大田区	ビュッファ平和島出張所	143-0006	大田区平和島1-1-1ビュッファ平和島 1 F		
	大森北出張所	143-0016	大田区大森北4-26-13		
	大田中央出張所	143-0024	大田区中央3-21-9		
	南蒲田出張所	144-0035	大田区南蒲田3-8-27		
	ミヅ新糎谷店出張所	144-0047	大田区萩中2-12-5ミヅ新糎谷店 1 F		
渋谷区	代々木公園出張所・ 代々木公園プラザ	151-0063	渋谷区富ヶ谷1-43-7		
目黒区	中目黒出張所	153-0051	目黒区上目黒1-19-10		
	目黒出張所	153-0064	目黒区目黒2-10-8		
新宿区	新宿出張所	160-0022	新宿区新宿3-3-2京王新宿三丁目第二ビル1階		
稲城市	稲城市立病院出張所	206-0801	稲城市大丸1171稲城市立病院 2階		

編集・発行

(2023年2月1日現在)

コンサルティングセンター

〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1

電話: 03(3742)0626

さわやかに まごころをこめて
さわやか信用金庫

